

令和6年度 研修生募集

千百年間君を待たした

白邊 出



石川県立山中漆器産業技術センター

ひきものろくろ

石川県挽物轆轤技術研修所



## ごあいさつ

越前より移り住んだ木地師集団が山中の地に挽物の技術をもたらしてから400年、日本一と誇れるまでに先人たちは技術を錬磨してきました。

石川県挽物轆轤技術研修所は、その先人に習い山中漆器挽物轆轤の技術を磨く場です。幾百年と生きてきた樹を、伝統の技で世に蘇らせる。それぞれの木の性質を見極め、五感覚を澄ませて轆轤に向かう時、教える立場、学ぶ立場、共にそれは精神修養の場でもあります。

木造り、刃物造り、それに伴う様々な分野を体得しつつ、挽物轆轤技術の習得を図って下さい。

石川県立山中漆器産業技術センター  
石川県挽物轆轤技術研修所

所長 川北 良造  
重要無形文化財保持者(人間国宝)「木工芸」

当センターは、山中漆器の原点で全国の頂点に立つ「挽物轆轤技術」の習得と後継者育成、将来の漆器産業を担う人材の養成及び自主研究等を行うための産業振興の中核施設として平成9年4月1日開設しました。全国で唯一「挽物轆轤技術」及び「漆芸技術」を総合的に学べる研修施設です。

## 講師

Instructors

### 特別講師

川北 良造

重要無形文化財保持者  
(人間国宝)〈木工芸〉  
石川県挽物轆轤技術研修所所長

前 史雄

重要無形文化財保持者  
(人間国宝)〈沈金〉

中野 孝一

重要無形文化財保持者  
(人間国宝)〈蒔絵〉

### 講師

#### 演習講師

中嶋 虎男

〈轆轤技術〉  
伝統工芸士(木地部門)

辻 英芳

〈轆轤技術〉

佐竹 一夫

〈轆轤技術〉  
伝統工芸士(木地部門)

川北 浩彦

〈轆轤技術〉

向出 昭一

〈轆轤技術〉  
伝統工芸士(木地部門)

宮本 優

〈轆轤技術〉  
伝統工芸士(木地部門)

中出 博道

〈轆轤技術〉

久津見龍也

〈轆轤技術〉

田中 昌宏

〈髹漆 下地〉  
伝統工芸士(塗り部門)

清水 一人

〈髹漆 上塗〉  
伝統工芸士(塗り部門)

金田 一司

〈木彫〉

東藤 達也

〈蒔絵〉  
伝統工芸士(加飾部門)

荒川 文彦

〈髹漆 上塗〉  
伝統工芸士(塗り部門)

田中 昌宏

〈髹漆 下地〉  
伝統工芸士(塗り部門)

清水 一人

〈髹漆 上塗〉  
伝統工芸士(塗り部門)

土本 内浦

〈指物〉

村中 稔

金沢美術工芸大学 教授  
〈製品デザイン、写真演習〉

角谷 修

金沢美術工芸大学  
教授〈環境デザイン〉

山村 慎哉

金沢美術工芸大学  
教授〈漆芸〉

古場田良郎

古場田デザインスタジオ  
〈製図、商品企画〉

仁志出龍司

金沢美術工芸大学  
名誉教授〈日本画〉

佐藤 俊介

金沢美術工芸大学  
教授〈日本画〉

畝野 裕司

金沢美術工芸大学  
教授〈視覚デザイン〉

#### 講義講師

山崎 達文

金沢学院大学 名誉教授  
〈工芸史、博物館学〉

山崎 剛

金沢美術工芸大学  
学長〈工芸史〉

#### 教養講師

梶 宗雅

〈茶道〉

田畑 孝祥

〈生け花〉

渡 司歳

〈書道〉

## 基礎コース

〈毎週月曜～金曜〉



修業年限 2年

定員 5名

## 資格

高等学校を卒業した者及び卒業見込みの者又は高等学校を卒業した者と同等程度の知識及び学力があると認められる者

## 専門コース

〈毎週火曜・水曜〉



修業年限 2年

定員 5名

## 資格

基礎コースを修了した者又は挽物轆轤技術等に関する専門的知識及び技能がこれと同等以上であると認められる者

## 1年次

## 〔演習〕

## 轆轤木工芸実技 (週3日)

木地用具の調整(挽物制作の基本的知識の修得)  
轆轤基礎(制作・加工を通じた基本的技能の修得)  
刃物(カンナ)づくり  
拭漆仕上げ  
修了作品制作

## 木工及び漆器全般

漆芸(変塗・象嵌・沈金等)  
蒔絵(週1日)

## 描出・形態・意匠デザイン

デッサン・着彩・製図基礎・パッケージデザイン

## 〔講義〕

工芸史・美術一般  
工芸と伝統、工芸と現代  
用と美等

## 〔教養〕

書道(月1回)  
屋外実習と市場見学(交互隔年)  
展覧会見学  
漆掻き実習

## 2年次

## 〔演習〕

## 轆轤木工芸実技 (週3日)

竪木挽き(椀・盆・蓋物実習)  
横木挽き(盆実習)  
千筋実習  
職人トレーニング実習(椀・茶托等)  
卒業作品制作

## 木工及び漆器全般

木彫(週1日)・髹漆(週1日)

## 描出・形態・意匠デザイン

環境デザイン・写真演習・商品企画

## 〔講義〕

工芸史・美術一般  
工芸と伝統、工芸と現代  
用と美等

## 〔教養〕

屋外実習と市場見学(交互隔年)  
展覧会見学



## 1年次

## 〔演習〕

## 轆轤木工芸実技 (週1日)

挽物(立案、製図、仕上げまで)  
木取りの仕方(竪木・横木)  
木材乾燥技術  
加飾挽き  
優品模造製作  
修了作品制作

## 木工及び漆器全般

木材工学・塗料・木象嵌

## 描出・形態・意匠デザイン

製図演習  
プロダクトデザイン

## 〔講義〕

工芸史・美術一般  
工芸と伝統、工芸と現代  
用と美等

## 〔教養〕

茶道(月1回)  
生け花(月1回)  
書道(月1回)  
屋外実習と市場見学(交互隔年)  
展覧会見学

## 2年次

## 〔演習〕

## 轆轤木工芸実技 (週1日)

挽物(立案、製図、仕上げ加飾まで)  
優品模造製作・卒業作品制作  
旋盤基礎

## 木工及び漆器全般

髹漆  
指物基礎

## 〔講義〕

工芸と伝統、工芸と現代  
用と美等  
茶道具について等

## 〔教養〕

茶道(月1回)  
生け花(月1回)  
箱書き  
屋外実習と市場見学(交互隔年)  
展覧会見学



木のぬくもりを伝える 日本一の山中木地挽物技術の基本

卒業作品  
令和4年度



菓子器 土井 江梨子  
φ5.7×4.2(寸)



干菓子盆 柴村 明  
φ8.0×0.7(寸)

共通課題

2年



仙才椀(本堅地仕上)



木彫作品

1年



仙才椀(白木地)



仙才椀(拭漆)



刃物づくり



轆轤挽き



拭漆

# 専門コース

さらなる高度な知識と技術で完成を目指す



櫛造盛器 神山 竜也

φ 11.5×2.0(寸)



櫛造食籠 寺井 楽

φ 7.0×2.5(寸)

2年



高台寺椀(本堅地仕上)



合鹿椀



大甕

1年



高台寺椀(白木地)



茶筒



加飾挽き



髹漆(上塗)

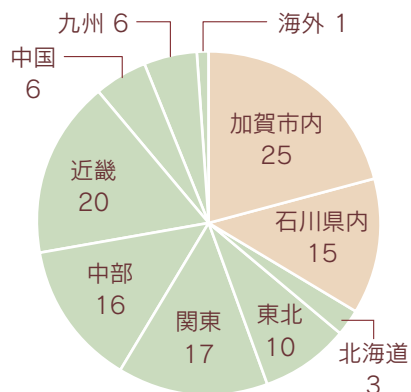


蒔絵(研出蒔絵)

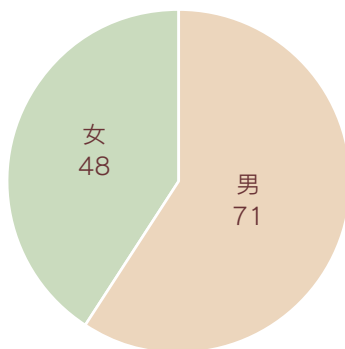


木彫(輪花彫り)

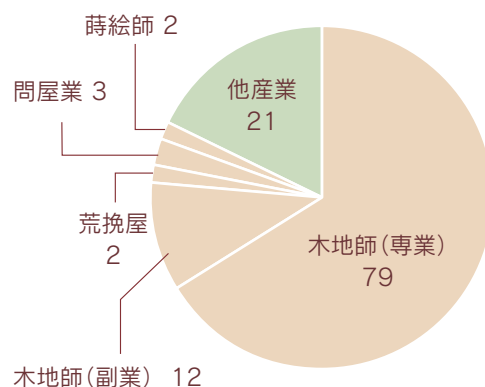
出身地 (全119名)



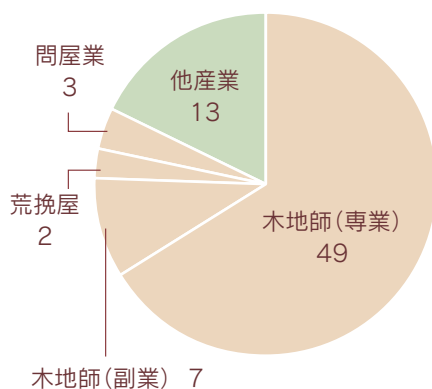
男女比 (全119名)



進路 (全119名)



進路(県内在住) (全74名)



卒業記念写真(令和4年度)



卒業証書授与式

## レンタル工房

Rental studio

若手木地師の自立を支援する施設です。  
 轆轤を備えた工房が2室あり、卒業生も利用  
 することができます。

(入居期間は原則3年以内)



## 募集する学科・修業年限・定員・受験資格

学 科	修業年限	定 員	受験資格
基礎コース	2年	5名	高等学校を卒業した者及び卒業見込の者又は高等学校を卒業した者と同等程度の知識及び能力があると認められる者。
専門コース	2年	5名	基礎コースを修了した者又は挽物轆轤技術等に関する専門的知識及び技能がこれと同等以上であると認められる者。

## 志願者の受付期間

受付期間: 令和5年11月1日(水)から令和6年1月10日(水)まで ※締切当日消印有効

## 試験の日時、会場、科目等

試 験 日: 令和6年2月1日(木) 試験会場: 石川県立山中漆器産業技術センター

学 科	科 目	内 容	時 間	備 考
基礎コース	面 接	個人面接	9:00~12:00	課題作文を事前に提出
専門コース	実 技	仕上挽	13:00~14:00	作品評価は、挽物木地(白木地、拭漆仕上問わず)を数点ご用意下さい。受験者同席とします。
	作品評価	面接・作品寸評	14:20~16:00	

## 合格者の発表

令和6年2月9日(金) 午前10時に当センター正面玄関・HPに掲示するほか、受験者全員に郵送で通知します。

## 主な経費<sup>※1</sup>

学 科	入学検定手数料	入学手数料		授業料(年額)	材料費(年額) <sup>※3</sup>
		県内の者	県外の者		
基礎コース	2,600円	6,500円	13,000円	221,000円	30,000円
専門コース	4,300円	10,900円	21,800円	148,500円	50,000円

※1 国や県の同種施設の利用料金の改定に合わせて、金額が改定されることがあります。

※2 一度納付した各種手数料、授業料についてはいかなる理由があっても返還できません。

※3 後期終了時までに過納額がある場合は返金します。不足を生じた場合は追加納入の必要があります。材料費の負担区分: 刷毛・茶道教材、生花教材 その他。

※4 ガス溶接技能講習未修了の方は、別途登録教習機関で受講していただく必要があります。(12,000円程度)

入学志願書の請求及び入学試験の詳細は、事務局までお問い合わせ下さい。

## 産業振興事業

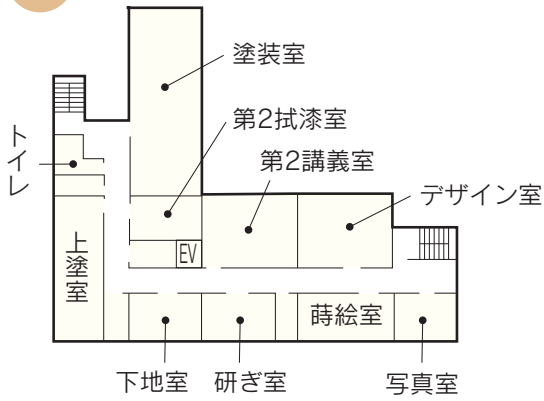
山中漆器産業技術センターは産業振興事業として、つぎの事業も行っています。

- 漆芸技術研修 (組合員の技術錬磨のための蒔絵、きゅう漆、乾漆、デジタル工作など)
- 山中漆器伝習事業 (地元学生を対象とし、初歩的な漆芸技法を指導)
- 経営管理育成講座 (漆器製造業に必要なマネジメント知識を指導)
- 施設・機器の貸し出し (施設や設備を開放し、企業の技術力を育成する)
- 技術相談 (情報提供、クレーム対応、新技術、法改正など)
- 体験教室 (生徒児童対象に、ものづくりを通して漆器の良さが感じられるイベントを開催)
- 木地挽きろくろ体験・見学ガイド (見るだけでは分かりにくい伝統工芸のよさを紹介)

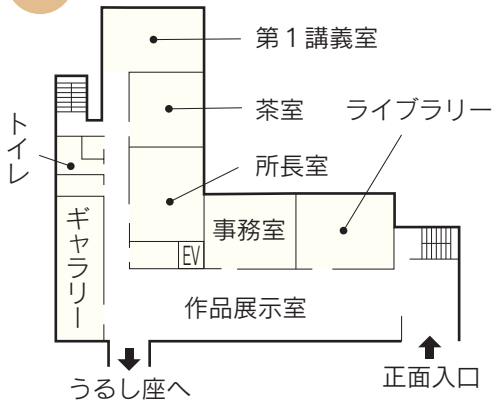


体験教室

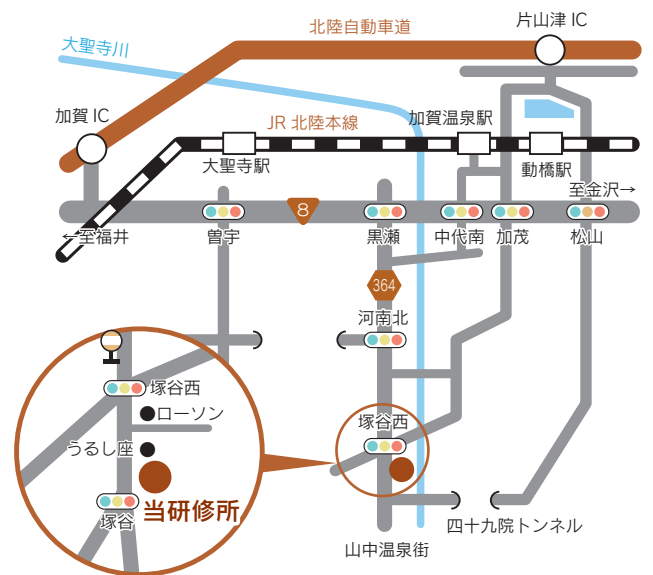
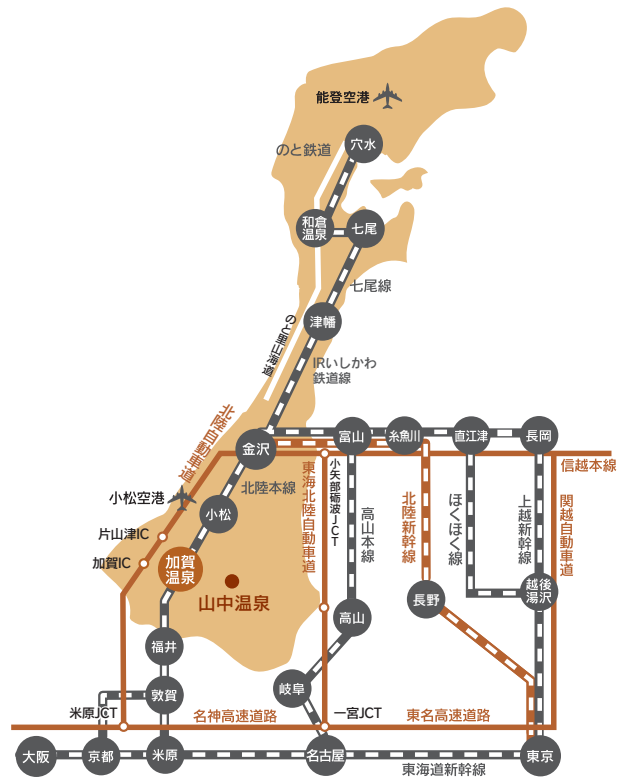
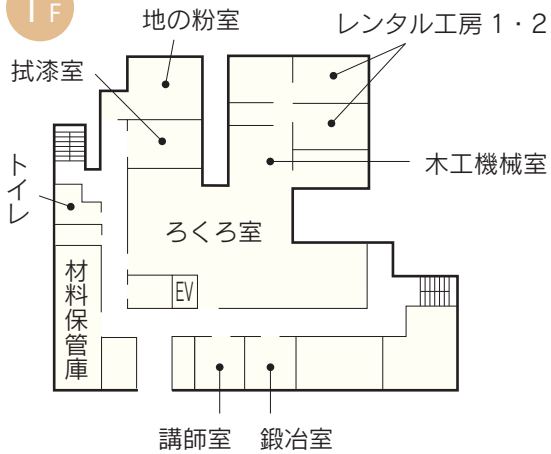
3F



2F



1F



### 交通機関

- 小松空港から  
〔バス〕 JR小松駅ゆきへ乗り、JR小松駅から JR加賀温泉駅へ約25分
- JR北陸線/加賀温泉駅から  
〔加賀温泉バス〕 山代・山中温泉ゆき、塚谷町下車 山中温泉街方向に5分  
〔タクシー〕 JR加賀温泉駅から約20分
- 北陸自動車道/加賀ICから山中温泉をめざし約30分

## 石川県立山中漆器産業技術センター 石川県挽物轆轤技術研修所

〒922-0111 石川県加賀市山中温泉塚谷町イ270番地

TEL (0761) 78-1696

FAX (0761) 78-8696

Mail ymnkssgc@po.incl.ne.jp

ホームページ <http://yamanaka696.org>

